

 B. 各支部から

## 秋田県小児保健会の取り組み

秋田県小児保健会支部長  
秋田組合総合病院小児科  
小 松 和 男

平成18年から秋田県小児保健会会長を務めさせていただいております。秋田県小児保健会は昭和38年に県内の小児科の先生方を中心に、県の公衆衛生課（現在は健康推進課）の行政の協力のもとに設立され、当初は事務局も県庁内にありました。昭和53年から毎年県より多大な財政的支援を受け、秋田県小児保健会の主催事業として秋田県小児喘息サマーキャンプを開催してきました。

また秋田県小児保健会総会並びに講演会は、以前は毎年6月に開催しておりましたが、平成16年からは「こどもの健康週間」事業と位置付けて、毎年10月に開催し、特別講演は一般公開して広く県民へ啓発活動を行うようにしております。

残念ながら平成19年には県の財政難から喘息サマーキャンプへの支援が打ち切られてしまい、平成20年に30回記念で終了となりました。

しかし、その後も秋田県から小児保健従事者研修事業の委託という形で財政的支援を受けることができ、市町村合併した25市町村すべてからも賛助会員になっていただいております。また、医師会員（医

師、歯科医師）92名、一般会員（区市町村行政関係者、薬剤師、大学教師、養護教諭、保健師、看護師、助産師、保育士、臨床心理士、歯科衛生士、栄養士、等）98名から年会費をいただき、財政基盤としております。

秋田県小児保健会では毎年、日本小児保健学会へ研修参加助成を行っております。演題発表者には、初年度の日本小児保健協会年会費、学会参加費、往復交通費、宿泊費を全額補助し、日本小児保健学会で一演題でも多く発表していただけるように最大限支援しております。結果的に、秋田県小児保健会の会員も少しずつ増えてきております。

平成23年度は日本小児保健協会学術集会が名古屋の藤田保健衛生大学で大西文子教授が会頭で開催されるということで、医師以外の会頭が初めて開催される記念大会と思います。是非、秋田県からも医師だけでなく多くの職種の方々に参加して演題発表していただけるよう、今から最大限呼びかけていきたいと考えております。